

<p>投稿年月日</p>	<p>令和3年6月14日</p>	<p>投稿者</p>	<p>市外在住 80代 男性</p>
<p>ご意見・ご提案内容</p>	<p>ドローンのこれからの進化度にもよりますが、中山間地帯の農林産物の採取から出荷までの効率化が望まれます。</p> <p>一、中山間地の高齢化農家支援や新規参入者誘致には、「生産と販売の分離」、「栽培・採取から搬出・選果・出荷までの一気通貫作業受託」による生産や栽培作業への特化が今後ますます必要になります。</p> <p>二、自動採取機の進化で、採取作業受託を含め栽培作物や果実をドローンで搬出できるようになれば、採取から出荷までのビジネスモデルが構築できます。</p> <p>三、有馬川等河川の上空が飛行ルートと固定化されれば、国道と有力河川の交差する付近に新たな共同選果施設を設け、森林の特用林産物を含め、中山間地からの産物のドローンでの搬出による作業効率化ができる。</p> <p>四、陸路から鉄道輸送に代えられる作物等を含め、島原鉄道終点駅構内に設けた共同出荷施設に集結し、作物別コンテナ輸送で鮮度を保つ出荷をしたい。</p> <p>五、栽培に特化できる農業業態なら JA 准組合員や土地持ち非農家による随時作業でも可能なジャガイモ等根菜類に特定した業態で、荒廃農地の活用ができる。野菜栽培が難しい急傾斜荒廃農地や「林業経営に適さない森林」には、ユーカリや赤目柳等花木栽培や、桜・こぶし等広葉花木樹、ミツマタや檜等による下層帯を含む花木林化で、枝物生産林化による新たな特用林産物もドローンによる搬出が可能になる。</p> <p>六、当初の共同施設投資は JA が担っても、国交省管轄のドローン事業は島原鉄道へ事業譲渡し、島原鉄道再生をサポートしたい。JA は営農支援や農産物買取再販に特化したらよいと思う。</p>		
<p>回答</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では、農業分野におけるドローンを活用した事業として、農作業の効率化と労働力の削減に期待される農薬散布の補助事業を創設いたしました。</p> <p>農業用ドローンによる水稻の農薬散布について、市内農家に募集を行っており、今後、馬鈴薯・ブロッコリーなど露地野菜にも拡大し、中山間地での農業用ドローン活用の普及に取り組んでいるところです。</p> <p>いただきましたご提案につきましては、今後の参考にさせていただきます。</p>		
<p>担当課</p>	<p>農林課</p>		